

こんにちは日本共産党区議会議員の**桜井みのる**です。
住所：世田谷区三軒茶屋1-6-11 電話：03-5481-2928
メール：s-minoru@tokyo.email.ne.jp 2018年11月号



補助金の増額、低コスト工法を普及し、住宅耐震化の促進へ

国の有識者会議がマグニチュード7クラスの首都直下地震が30年以内に70%の確率で起きると発表したのは2013年、すでに5年が経過しようとしています。その被害想定によれば、世田谷では建物倒壊が6千棟、死者が200人とされています。住宅の耐震化は待ったなしです。区内の住宅耐震化の目標はあと1万6千戸が求められています。しかし

桜井みのるのプロフィール
1958年町田市生れ、60歳。日本工学院テレビ放送技術科卒、渋谷ビデオスタジオ勤務。95年より区議会議員、5期目。現在、区議団政調会長、都市整備常任委員、地方分権・本庁舎整備対策特別委員長、都市計画審議会委員。趣味は演劇鑑賞、写真撮影など。

- 世田谷区の住宅耐震工事の現状
2015年は29戸終了
2016年は6戸終了
2017年は8戸終了

・これまで2001年～2017年)の合計は、527戸終了

- 世田谷区の木造住宅耐震改修工事の補助額は130万円

・身体障害1、2級と要介護3～5のいる世帯は補助額が150万円

現状では、これまで527戸の耐震化のみ。住宅の耐震化が遅れています。わが党は、高知県の住宅耐震化の現状を見てきました。人口73万人の高知県で、耐震改修工事はこれまで7千件以上が実施されています。その取り組みは、耐震改修工事が自己負担な

しで、自治体からの補助金の範囲内でもできる低コスト工法を地元の業者に普及、推進していることでした。調べてみますと、東京都のパンプレットの耐震改修工法の事例紹介でも費用が120万円や142万円という安い費用の工法が紹介されています。

私は第3回定例議会で、住宅耐震改修工事の低コスト工法を紹介・推奨し、区内業者に工法を普及することを求めました。また耐震改修工事の補助金を引き上げることを求めました。



9条改憲阻止、消費税10%増税中止

野党と市民の共闘を前進させて、安倍政権を退陣させましょう

桜井みのる区議は議会活動の合間を縫って、支部や後援会のみなさんと一緒に宣伝、訪問活動、相談活動などに奮闘しています。

18日には、駒沢公園で「駒沢公園にプールの再生を願う会」のみなさんと一緒に署名行動を行いました。

この間、三宿、下馬、北町団地、上馬地域を党支部や後援会の方と一緒に宣伝カーやハンドマイクでの宣伝を行いました。ビラの受け取りが良く、「安倍政権は許せない」「共産党

を応援しています」「頑張ってください」「特別養護老人ホームをつくってください」「ださい」などの温かい声援が寄せられました。



2名連記ポスターを貼り出しましょう。
私、桜井みのる区議も、さっそく2名連記ポスターを事務所に貼り出しました。

桜井みのる区議の「区政報告会」に、ぜひご参加ください。

- 11月11日(日)
1時30分～
三軒茶屋事務所
上馬東支部・後援会
- 11月24日(土)
10時～
深沢区民センター講習室
「深沢わか葉の会」